

令和2年 1月 28日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学

学長 丸 義朗

(公印省略)

東京女子医科大学附属八千代医療センター母体胎児科 教授候補者の公募について

謹 啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、本学附属八千代医療センター母体胎児科教授である正岡直樹教授が令和2年3月31日をもって定年退職となることから、後任の教授を選考することになりました。なお、後任の教授には附属八千代医療センター総合周産期母子医療センター長および周産・女性部診療部長を担当していただきます。

つきましては、貴学・貴施設ならびに関連の諸機関に候補者として適任者がおられましたら、ご推薦賜われますようお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 公募の概要および選考方針

附属八千代医療センターは千葉県における臨床（救急医療を含む）・研究・教育の拠点病院であり、特に総合周産期母子医療センターを有する産科関係の県内最大の拠点病院であるため、母体胎児科教授として、産科、婦人科、新生児科全般に深い造詣を有し、総合周産期母子医療センター長として千葉県全体の医療関係者と密接な連携を取りながら、臨床（救急医療を含む）・研究・教育をバランスよく運営できる高邁な人格を有する方を公募いたします。資格要件は以下のとおりです。

なお、選考にあたりましては、「社会に貢献する女性医療人を育成する」という本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針であることを申し添えます。

- (1) 日本の医師免許を有する方
- (2) 博士（医学）の学位を有する方
- (3) 5年以上の教育歴、10年以上の研究歴、10年以上の診療歴を有する方
- (4) 日本産科婦人科学会産婦人科専門医および指導医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医および指導医の資格を有する方で、産科、婦人科、新生児科医療全般に対する造詣が深く、産科・婦人科疾患のみならず、総合周産期母子医療センター長として周産・女性部・新生児の救急疾患にも十分対応ができる卓越した臨床能力を有する方
- (5) 研究業績として、査読付自著論文（*）15編以上（但し、以下のAを1編以上含み、か

つAまたはBを計4編以上含むこと)または自著論文のインパクトファクターの合計が15以上の要件を満たすこと

A: 英文研究論文(自著原著)とする。また英文で発行され国際的評価を受けている雑誌で、インパクトファクター0.5以上を一応の目安とする。

B: 英文研究論文(自著原著)で、国内誌、海外誌とも、学会誌もしくはそれに準ずるもの。それ以外は学術雑誌でも該当する専門家を含む相当数の読者がおり、アクセスが自由にできるもの。また、英文による総説や解説、症例報告もこれに含める。ただし、編集長への手紙(Letters to the Editor)、ブログ、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与されない電子ジャーナル等は含めない。

(*)自著論文とは、本人がfirst authorまたはequal contributorになっている論文、またはcorresponding authorとして明記されている論文を指す。

(6) 臨床においてチーム医療と医療安全を積極的に実践できる方。特に、医療安全に関して、以下のAまたはBを満たす方(学外からの応募の場合、応募時点で基準を満たさないときには、就任後、2年以内に満たせばよいこととします。また前任地等でAまたはBと同等の経験をしたかを書面の提出により判断いたします)。

A: 医療安全推進部門において、半日若しくは1日単位で計24日間以上実務者として勤務していること

B: セーフティマネージャー1年以上の経験があること

(7) 人格的に優れ、高い組織マネジメント能力を有し、総合周産期母子医療センター長および診療部長として適切に統括するとともに、常に経営改善の努力ができる方。

また、JCI(Joint Commission International)や日本医療機能評価機構の認定に際し、院内業務の統括に対して中心的な役割を果たし、病院運営に対しても深い知識と経験を有する方

(8) 本学の医療施設である本院小児科、母子総合医療センター、東医療センター小児科、周産期新生児診療部・新生児科および附属八千代医療センター小児科、小児救急科、小児集中治療科との連携を積極的に推進できる方。

また、千葉県における当施設の公益性(県内最大の総合周産期母子医療センター)を十分に理解し、事業に積極的に参画できる方

(9) 本学の理念である「至誠と愛」を十分に理解するとともに、女性医師の育成、教育に尽力でき、将来リーダーシップをとることができる医療人を育成できる方。また、女性の働きやすい職場環境を構築できる方

2. 提出書類等

詳細は本紙4～5ページをご参照ください。

様式1～6については、本学ホームページ(HOME > 新着採用情報)からダウンロードしてください。<http://www.twmu.ac.jp/univ/>

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 履歴書 | 1部 (補足資料もご提出ください) |
| (2) 業績目録 | 1部 |

- (3) 主要自著論文別刷 10編 各1部
- (4) 主要自著論文10編の説明 1部
- (5) 研究資金等の取得状況 1部
- (6) 診療実績 1部 (黄色部分すべて埋めてください)
※補足資料もあわせてご提出ください。
- (7) 医療安全管理に係る実務経験 1 部
- (8) 自己評価書 1部
- (9) 推薦者一覧 1部
- (10) 推薦書 (厳封) 推薦者3名まで
- (11) 上記 (1) ～ (8) の電子ファイルを保存した媒体 (USBまたはCD) 1式
※上記 (3) は PDF ファイルで保存してください。

3. 提出方法

- (1) 上記の提出書類を一括して送付してください。
- (2) 提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー (ホッチキス) 等は使用しないでください。
- (3) 封書等の表に「親展」「八千代医療センター母体胎児科教授応募書類」と朱書きしてください。
- (4) 提出に際しては、書留等で確実に受理が確認できる方法でお送りください。直接持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください。

4. 提出期限： 令和2年 3月 27日 (金) 必着

5. 提出先： 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学
学長 丸 義朗 宛

6. 選考方法

- (1) 1次選考：書類審査
- (2) 2次選考：面接審査
- (3) 3次選考：公開講演審査
- (4) 最終選考：理事会審査

7. 問い合わせ先

東京女子医科大学 学務部医学部学務課
電話 03-3353-8111 (内線) 26070

8. 備考

- (1) 提出書類等一式は返却いたしません。選考に関わる者以外に応募情報が漏洩しないよう厳重に管理の上、最終選考が終了しましたら速やかに当方にて責任を持って処分いたします。なお、選考過程において選考に関わる者として、本学教授会構成員および

理事会構成員等が含まれることをご了承願います。

- (2) 候補者の方には選考過程において、面接、公開講演等で数回ご来学いただくこととなります。このために必要な旅費・滞在費等は応募者の負担といたします。また、追加資料の提出を求めることや、状況確認等で所属施設に伺う場合があります。
- (3) 選考結果は、最終選考が終了次第、応募者ご本人のみに通知するものとし、推薦者の方には通知いたしません。
- (4) 本学では、令和元年度から任期制を導入しており、採用初年度は原則として1年間の有期雇用となり、勤務実績等を考慮した上で更新されます。予めご承知おきください。

以上

提出書類の記載要領等について

(1) 履歴書 (様式 1) (写真貼付)

別紙 (様式 1) に従い、学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会貢献活動、賞罰に分けて記載してください (相互に重複することは差し支えありませんが、項目で記載する内容がない場合は「なし」と明記してください)。

また、履歴書に記載した卒前、卒後、大学院教育については、年間の講義内容・実習の時間数を記載した担当表やシラバス (過去 3 年分) のコピー (およびその PDF ファイル) を添付してください。

(2) 業績目録 (様式 2)

別紙 (様式 2-1、様式 2-2) に従い、Excel ファイル内のシートに記載してください。

(3) 主要自著論文別刷 10 編

主要な自著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付するとともに、これらの PDF ファイルを (10) の媒体に保存してください。

(4) 主要自著論文 10 編の説明書 (様式 3)

別紙 (様式 3) に従い、各々の論文の独創的な点について 200 字以内で説明を記載してください。

(5) 研究資金等の取得状況 (様式 4)

別紙 (様式 4) に従い、直近 10 年間に取得した研究資金を記載してください。

(6) 診療実績

別紙 (様式 5-1、様式 5-2) に従い、Excel ファイル内の 2 つのシートに、医療機関に保管登録された診療録に基づき、外来診療、入院診療および手術の状況について記載してください。

上記に加え、以下①～③の資料をご提出ください (手術概要等を記載した説明書は紙媒体と電子ファイルの形式でお送りください。手術記録の写しは個人情報保護の観点から患者氏名を必ず消した上、紙媒体でお送りください)。

① 平成 29 年 1 月～令和元年 12 月の 3 年間に、応募者本人が執刀した代表的な手術症例 10 件 (うち最低 1 件は申請時より 2 年以内の手術症例を含めてください) について、その選択理由および手術概要を記載した説明書 (各手術 A4 版 1 枚程度とし、書式自由) および手術記録の写し (個人情報保護の観点から、患者氏名は必ず消してください)。

② 上記手術症例 10 件のうち、申請時より 2 年以内に応募者本人が執刀した手術症例の未編集動画 1 本 (コピープロテクトを付けずにパソコンで視聴できる形式で DVD (複

数枚可) または USB に保存の上、ご提出ください)

- ③ 平成 31 年 1 月～令和元年 12 月の 1 年間に、応募者本人が執刀したすべての手術症例の手術記録の写し(個人情報の観点から、患者氏名は必ず消してください。なお、上記①の手術症例 10 件と重複するものは除く)

(7) 医療安全管理に係る実務経験

前任地等において医療安全に関して、学外からの応募の場合、前任地等で A または B と同等の経験をしたかを別紙の提出により判断いたします。なお、前任地等で専用の様式がありましたら、そちらを提出していただいても結構です。

A : 医療安全推進部門において、半日若しくは 1 日単位で計 24 日間以上実務者として勤務していること

B : セーフティマネージャー 1 年以上の経験があること

※本学医師が応募する場合は別途書類を提出していただきます。

(8) 自己評価書

教育、研究、診療の実績や抱負など、下記①～⑦の各々について、具体的に記載してください(A4 版で各 1～2 枚程度とし、書式自由)。

- ① 教育…卒前・卒後教育(大学院教育を含む)における講義、実習、少人数教育(テュートリアルなど)の経験と、教育に対する考えについて記載してください。
- ② 研究…主な研究分野とその業績、若手研究者の育成経験、今後の研究の展望と抱負を記載してください。
- ③ 診療…実績、専門領域、特殊技能などについて記載するとともに、外来・入院患者数の増加に向けた方策などについても具体的に記載してください。
- ④ 医療安全…セーフティマネージャー等の経験や医療安全講習会への参加状況を記載するとともに、安全な医療に関するお考えを記載して下さい。
- ⑤ 組織マネジメント…主導的立場で経験した実例を記載してください。例えば、教室の運営、医局長や病棟長の経験、所属学会の委員会の委員長、社会貢献活動における主導的立場など、種類を問いません。また、講座の運営方針についてお考えを記載してください。
- ⑥ 女性医療者の教育・育成…本学の建学の精神や大学の理念を踏まえ、女性医療者の教育・育成に対するお考えを記載してください。これまでに実績があれば、その内容もご記載ください。
- ⑦ 将来への抱負…ご自由にお書きください。

(9) 推薦者一覧

推薦書をご提出いただく推薦者(3 名まで)の氏名・所属・役職を明記した一覧表(A4 版。書式自由)。

(10) 推薦書 (3 名まで)

別紙(様式 6)に従い、最初に応募者との関係と交流期間を明示の上、応募者の教育、研究、診療に関する能力、組織マネジメント力および人物について客観的な評価を記載していただくようお願いいたします(原則として 1 枚)。推薦者は国内外を問いませんが、提出期限に注意して依頼してください。推薦書は、推薦者が封書に入れて厳封した状態で、応募者の資料と一緒に送ってください。

-以上-